

THE CHEMICAL DAILY

化学工業日報

2012年(平成24年)

10月9日 火曜日

第22444号 (日刊、土・日・祝日除く)

日本触媒・姫路爆発事故

日本触媒の姫路製造所の
のアクリル酸設備は、年
46万トンの生産能力でフル
生産が続いていた。アク
リル酸のプロピレン原単
位はおよそ0.7である

日本触媒の姫路製造所の爆発事故
にともなう、アジア、日本のプロ
ピレンバランスに少なくない影響が
出ることが確実となってきた。同製
造所では最大生産品目であるアクリ
ル酸用に、大量のプロピレンを外部
購入していたためだ。すでにアジア
マーケットでは、中国の国慶節休暇
で城内取引が閑散としている先週時
点でプロピレンの先積み価格が若干
下落。休み明けの今週以降には、本
格的な市況の変化も予想される。ま
た国内では、プロピレンの余剰感が
高まり、クラッカー稼働率を押し
しする要因となる可能性も大きい。

アジア

ことから、年に約30万ト
ンのプロピレンを消費して
いることになる。日本触

先積み価格が若干下落 クラッカー稼働調整も

同製造所の生産再開
は、しばらく難しいとさ
れる。10万ト単位の需要
が失われたことで、アジ
ア市況は敏感に反応。も
ともと世界的な景気後退
懸念で需要が低調だった
だけに、先週には1ト当
たり1400ポンド弱の水
準から同1350ポンド超へと
若干ながら先積み品価格
が下落した。中国の国慶
節の長期休暇で、アジア

日本

媒では、これを全量外部
から調達しており、国内
の石化メーカーから購入
している。昨年の日本の
プロピレン総生産量は約
560万ト。この5%以
上の需要が一気に失われ
た計算だ。

プロピレンバランスに影響

市場ではほとんど取引が
なされていない状況
下での下落だけに、今週
以降に現物市況でも市況
変動があるかどうか注目
が集まるところだ。

輸出増だけで対応でき
ないとすると、稼働率を
調整するしか方法はな
い。国内のクラッカーの
稼働率平均は8月が87%
と、7月の83%よりは改
善したものの、90%以上
とされる通常のレートを
下回った状態が続いてい
る。これに、日本触媒シ
ョックが追い打ちをか
け、国内クラッカーの一
層の稼働悪化につながり
かねない状況となりつつ
ある。